



シティプロモーション映像を制作

四日市市では、市の魅力を広く発信し、都市イメージの向上を図るため、シティプロモーションに取り組んでいます。

その一環として、俳優の京本政樹さんの全面支援の下、新しいシティプロモーション映像を制作・公開しました。

斬新で印象に残る内容に



京本政樹さんが、人気時代劇「必殺シリーズ」において演じる「組紐屋の竜」「名張の翔」などを模したキャラクター「四日市の翔」として登場し、人間と友達になりたがっている妖怪の子ども「こにゅうどうくん」と絶妙なやり取りを繰り広げます。

誰にでも分かりやすいシンプルなストーリーの中に斬新さを加えることで四日市市の存在感を示し、印象に残る映像となっています。

映像を活用して知名度を向上

この映像は、四日市市やよっかいちフィルムコミッションのホームページで公開しています。

また、「109四日市シネマズ」や名古屋の「ミッドランドスクエアシネマ」「ミッドランドスクエアシネマ2」の3映画館において、15秒のCM版をシネアド（映画館でのCM）として上映しています。さらに、東京都内（渋谷、池袋、秋葉原）の街頭ビジョンで60秒のダイジェスト版も上映しています。



名古屋や東京をはじめとした大都市圏など、市外・県外において四日市市の知名度を向上させ、より多くの人に四日市市に関心を持っていただけるよう、この映像を活用していきます。また、知名度が向上していくことで、市民の皆さんに市に対する愛着や誇りを感じていただければと考えています。

登場人物



四日市の翔（京本政樹）

どこから来たのか誰も知らない。人呼んで「四日市の翔」。必殺技は「独楽」と「手拭いぐるぐる巻き」。



妖怪（こにゅうどうくん）

ちょっぴり寂しがり屋で人を驚かすことが大好きな妖怪の男の子。



町娘（風谷南友）

四日市で暮らす美しい町娘。こにゅうどうくんに気に入られすぎて困っているところを、四日市の翔に助けられ、心ひかれる。

ロケ地紹介

ロケ地 ① 四日市市立博物館・プラネタリウム



撮影で使われた町並みは、全て原寸大再現。「四日市市立博物館」にある常設展「時空街道」です。古代から近世まで、時空をおさんぽ感覚で旅することができます。併設の「四日市公害と環境未来館」では、環境学習のため海外からも見学者が訪れています。プラネタリウム「GINGA PORT 401」では工場夜景を投映し、四日市の翔とくにゆうどうくんのアクションシーンも撮影されました。



所 四日市市安島一丁目3-16 時 9:30~17:00
休 月曜日（祝日の場合は翌平日） 電 059-355-2700

ロケ地 ② 伝七郎（国登録有形文化財）



ロケ地に使われた伝七郎は、かつて紡績王「第十世伊藤伝七」の別邸として、明治29年に建てられました。港町として発展した四日市の歴史を今に伝える屋敷はその後、多くの実業家や政治家が訪れる料亭「浜松茂」として受け継がれました。

現在は歴史を受け継ぎ、新しく「伝七郎」となり、三重県の魅力を発信する場としてさまざまな事業に活用されています。



所 四日市市高砂町6-12 伝七郎「神楽」
時 ランチ11:30~14:00/ディナー17:00~21:00
見学は10:00~17:00 休 水曜日
電 059-351-2491 HP <http://100year-club.jp>

ロケ地 ③ 茶室 泗翠庵（しすいあん）



水の豊かな四日市は古来より「泗水」と呼ばれ、伊勢茶や酒の産地として知られていました。泗翠庵は日本古来の伝統文化（茶道・句会など）に親しむことができる場として建てられた施設です。いつでも立礼席を楽しめるほか、撮影で使われた庭や小間の見学も随時受け付けています。



所 四日市市鵜の森一丁目13-17（鵜の森公園内）
時 立礼席10:00~16:00（入席は15:40まで）
休 月曜日（祝日の場合は翌平日）
電 059-352-4960

ロケ地 ④ 四日市あすなろう鉄道 日永駅



「四日市あすなろう鉄道」の内部・八王子線は、大正時代から走る古い路線で、全国でも3社線しかない線路幅762mm（特殊狭軌線）のナローゲージの鉄道として、全国の鉄道ファンから愛されています。

通勤や通学などの身近な移動手段として、東海道沿いをコトコト走っています。撮影で使われた日永駅は、特殊狭軌線である3社線のうち、唯一2路線に分岐しています。

ロケ地 ⑤ コンビナート夜景



ラストシーンが撮影されたコンビナート夜景は、第一コンビナートと呼ばれる一帯。四日市は「工場夜景の聖地」と呼ばれており、工場夜景の撮影スポットが数多くあります。陸上、海上、展望台など

さまざまな場所から撮影ができるため、写真愛好家が大勢訪れています。撮影時は雷が鳴っていて、映像には稲妻が映っています。

メディアの皆さんも大注目！

■ロケ当日、現場の一つである「泗翠庵」で取材を受け、森市長も同席しました。



■また、市外・県外の皆さんにもお伝えするため、東京・三重テラスにおいて記者会見を行いました。在京のテレビ局など、多くのメディアの皆さんに取材に来ていただきました。情報番組やニュース番組で報道してもらおうことができ、広告宣伝効果が期待されます。



映像はココでチェック！

■四日市市ホームページ
トップページから下記バナーをクリック



■よっかいちフィルムコミッションホームページ
<http://yokkaichi-fc.jp/>
メイキング映像も公開しています！

■映画館でのシネアド
「シネアド」とは、上映の合間に流れるCMのことです。以下の3映画館において、8月3日から流れています。

- 109四日市シネマズ
- 名古屋・ミッドランドスクエアシネマ
- 名古屋・ミッドランドスクエアシネマ2
- 東京都内の街頭ビジョン
 - 渋谷・IGビジョン（9:00~24:00）
 - 池袋・リプレビジョン（8:00~23:00）
 - 秋葉原・ラジ館ビジョン（8:00~22:00）

今年も行くよ！頂点へ！



■シティプロモーション映像の撮影でも頑張った「こにゆうどうくん」。昨年、ご当地部門4位だった「ゆるキャラ®グランプリ」に今年も挑戦しています。

■今年こそ念願の1位になって、日本全国に、四日市市をもっともっとPRします！



■あなたの「投票」で応援してください！

11月9日（金）まで、パソコンやタブレット端末、スマートフォンや携帯電話のメールアドレスを登録すると、メールアドレス1につき、毎日1回投票できます。

